

## ファイザー社友会創立 30 周年記念総会が開催されました。

ファイザー社友会創立 30 周年記念総会・特別講演・懇親会が 6 月 1 日（月）、新宿京王プラザホテルで開催されました。本年が社友会創立 30 周年にあたるため、会員の意識の高揚に加えて、「人生の邂逅」をテーマに、会員からの紹介・推薦による新入会員掘り起し及び非会員 OB/OG のご招待（但し参加費負担）等により、参加者が例年の 4 割増となり、さらに会社からは、社長以下会社幹部が多数出席され、総勢 250 名余という大盛況の開催となりました。



総会開催前に、◆ワクチン事業部門から社友会へのご案内として、企画部長の為安あかねさんが、神野取締役執行役員からのメッセージ及び患者配布資料をもとに、ファイザーの肺炎球菌結合型ワクチン「プレベナー13」についての簡単な説明と、現在実施中の加山雄三を起用したキャンペーン「健康寿命を、のばそう。65 歳からのおとなの予防接種」の概略について説明を行いました。

### 第 I 部

◆総会の開会（総合司会、松本悦子理事）に引き続き、この 1 年間に物故された会員に黙禱を奉げてご冥福をお祈り致しました<本 HP の物故者リスト参照>。次いで、今期新たに入会された会員 40 名の中から本日の出席者 10 名の紹介が行われました。

◆会長挨拶において、



（佐藤忠夫さん）

新会長 佐藤忠夫氏さんは、本総会は創立 30 周年の記念すべき年であることから、人生の邂逅をテーマに、例年の参加人数を大幅に増やして、共に総会を祝うために、様々なアクションを企画実行した結果、参加人数は総勢 250 名と例年を大幅に上回る見込みであると述べられました。会員平均年齢は約 70 歳、今のファイザーの繁栄の礎を築いたまさにその年代層であり、この間、地方駐在制、私有車制度、持ち家制度の導入、企業年金制度、これらはまさに今われわれがこの恩恵を享受しています。また、名古屋工場の開設、新宿三井ビルへの移転、会社統廃合と皆さまのご努力により、今日の目覚ましい発展を遂げてまいりました。現在は新宿文化クイントビルで占有階数 6 フロアーをより効率よく、機能的オフィスデザインに変貌、インフラではバーチャルテクノロジーの強化に、i-phone を全面的に活用、承認申請や各種承認をスマホでやってしまうといった我々世代では到底考えられなかったビジネススタイルが今現実に動いています。これはまさに OB にとっては文字通り温故知新であり、この 30 周年企画は人生の邂逅にふさわしい会となりました。また、この会長挨拶の中で、全国 7 支部長のご紹介とホームページ管理運営チームや新たに発足した囲碁同好会などの活動状況等が紹介されました。

社友会の会員数は、新入会員 40 名、物故会員 15 名を考慮して、1,345 名（2015 年 3 月 31 日現在）になりました。

◆来賓のご挨拶では、



(梅田一郎さん)

ファイザー株式会社代表取締役社長 梅田一郎さんより社友会創立 30 周年記念のご祝辞を頂戴し相互の深い信頼の絆が確認されました。

次いで、◆喜寿の祝では、本年度中に喜寿を迎えられる会員の数が昨年より増えて 33 名となりました。当日総会に出席された方 3 名には喜寿の祝い品が副会長の下岡新雄さんから授与されました。



(左：下岡新雄さん、右：富安泰山さん)

◆総会における議決事項として、総会の議長は会則に則り佐藤忠夫会長が務め、橋山高昭副会長が関連資料の説明を行い、社友会会則の一部改定とそれに関連して昨年の総会以降1年間の間に支部選出役員2名の交代、及び2014年度の決算と監査報告（平泉監事による監査報告）並びに新年度予算について議案ごとに議決を行い、全て無事承認されました。



(橋山高昭さん)

続いて、◆ファイザー社の概況について梅田取締役社長より以下のプレゼンテーションがありました。



(梅田一郎さん)

2014年ファイザーグローバルの業績は、年商496億ドルであり、対前年比4%のマイナスに推移し<[以下のスライド参照](#)>苦戦が続いていますが、これは最大市場の米国における特許切れ医薬品のジェネリック処方推進の法的規制強化が大きく影響しているとのことです。



## 2014年度 業績(全世界)

	2013年	2014年	伸長率
収益*	\$516億	\$496億	-4%
純利益	\$220億	\$91億	-58%
*収益内訳			
米国	\$203億	\$191億	-6%
米国外	\$313億	\$305億	-2%

4



一方、日本の製薬業界も同じく非常に厳しい状況下にあります。そんな中でファイザー日本法人の業績は年商 5,020 億円であり、前年と比較して 5%のマイナスではありましたが<[以下のスライド参照](#)>が、全社一丸となってリーディングカンパニーとしての位置を維持しており、今後とも新製品が発売されることを期待しながら、リーディングポジションを維持していく旨の強い意思表示がありました。



## 日本の売上ランキング

(2013年12月～2014年11月 薬価ベース 販促)

	会社	売上(百万円)	シェア	伸長率
	市場TOTAL	9,930,131	100.0%	1.3%
1	ファイザー	606,285	6.1%	3.0%
2	武田	529,521	5.3%	-1.4%
3	第一三共	472,672	4.8%	-1.5%
4	中外	434,625	4.4%	8.9%
5	MSD	376,941	3.8%	-6.3%
6	ノバルティス	361,769	3.6%	-7.3%
7	田辺三菱	351,051	3.5%	-5.4%
8	アストラゼネカ	309,837	3.1%	3.9%
9	サノフィ	294,872	3.0%	-7.7%
10	GSK	283,562	2.9%	-0.1%

Source: IMS-Japan



### ◆企業年金基金について、



(平井重信さん)

厚生年金基金 平井重信常務理事より、以下のプレゼンテーションがありました。社友会員にとって、最も関心のある企業年金の現況について、まず企業年金加入者数と受給者数について、加入者数は、H26年度が 4,642 名であり、H25年度より若干減少したのに対し、受給者数は 1554 名と昨年より若干増加しています<[以下のスライド参照](#)>。

## 加入員と受給者

単位:人

項目	H25年度	H26年度 見込
	H26.3	H27.3
加入者数	4,726	4,642
受給者数	1,527	1,554
待期者数	503	509
新規加入者数	41	36
脱退者数	461	120



Confidential and Internal to Pfizer

4

基金の財政は、運用収益がH25年度は153億円と多かったが、H26年度も152億円とほぼ同様に好調であり、給付額はH25年度が53億であったのに対し、H26年度は46億円と少し下がった。その結果、時価資産はH25年1,114億円に比べH26年は1,262億円に増えています。さらに数理債務との比較において、極めて健全な財政状態とのことでした。

<以下のスライド参照>。

## 基金の財政

単位:百万円

項目	H25年度	H26年度 見込
	H26.3	H27.3
掛金収入	5,472	5,194
運用収益	15,392	15,275
給付額	5,351	4,612
当年度剰余(△不足)	12,052	14,101
繰越剰余(△不足)	12,384	22,701
時価資産	111,488	126,223
数理債務	91,980	92,870
積立水準	121%	136%



Confidential and Internal to Pfizer

5

さらに安定性を増した運用に組み立てていく旨の説明があり、参加された年金受給者一同が安心された様子でした。

基金からのおしらせとして、来年(H28年)1月から実施が検討されているマイナンバー制度(社会保障・税番号制度)について、解説がありました。

## 第II部

◆特別講演会は社友会創立30周年記念総会として初めての試みでした。

福田洋理事の司会の下、「人生が10度あれば：－健康と生き方と死に方と－」のテーマで武蔵国分寺公園クリニック院長の名郷直樹先生をお迎えして行われました。



(名郷直樹先生)

同先生の講演は、人生と健康についての色々なケースを出席者に問いかけられて、聴衆の反応を以下のスライドのようにまとめてさらに聴衆の反応を引き出していくというようなスタイルで進められました。

### 以下のうち最も幸せなのはどれか

- 健康に気をつけて、長生きした
  - 健康に気をつけず、早死にした
  - 健康に気をつけて、早死にした
  - 健康に気をつけず、長生きした
- 
- 3番目は最悪
  - 最悪を避けるためには健康に気をつけない？

ハーバード大の白熱教室の様な進め方が出席者の共感を呼び、内容的にもエビデンス・ベースド・メディシンを長年実践されている同先生のお話は医学データに基づき、人生の晩年の生き方そのものを考えさせる哲学的な内容で、多くの出席者のこれからの生き方に多くの示唆を与えて下さいました。

### 第Ⅲ部

◆特別講演会に続く懇親会は、



(来賓のファイザー役員他ご紹介)



(乾杯の音頭をとる中田るみ子さん)

馬場範門理事の司会により、来賓のファイザー社役員・執行役員の方々が紹介された後、取締役人事・総務担当部門長 中田るみ子さんの乾杯のご発声で開宴となりました。時を同じ

くしてファイザー社友会員である牧野浩平さんが率いるハワイアンバンド“ナ・カナカ”とフラダンサーの計 5 名による名演奏を聞きながら美味しいホテル料理を味わい、かつ飲みながら懐かしい先輩・同僚・後輩との邂逅に時のたつのもすっかり忘れて楽しみました。ファイザー社の歴史紹介ビデオや支部会の仲間たちの紹介スライドの上映もあり、大盛況のうちに中尾紀之理事の音頭による中締めが行われ、みなさん名残惜しみながらのお開きとなりました。

以下、懇親会場での邂逅風景を数点ご紹介します。(敬称略)



(梅田、遠藤、波多野、深町の皆様)



(柴田、高原、島村の皆様)



(福島、渡辺他皆様)



(徳本、山田、橋谷、浜野の皆様)



(会員牧野浩平(中央)とナ・カカのハワイソ演奏)



(中締めの会場風景)

より多くの皆様方の交換風景写真等をホームページに掲載いたします。  
また、ファイザー社の梅田社長、企業年金基金の平井常務理事、及び名郷直樹先生の特別講演の詳細は後日逐次掲載予定です。

以上

社友会